

平成 30 年 9 月 14 日

レギュラトリーサイエンス学会 学術大会 参加者各位

秋涼の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、去る 9 月 7 日、8 日に開催しました第 8 回レギュラトリーサイエンス学会学術大会には、約 500 名という多くの皆様にご参加を頂き、成功裡に終えることが出来ましたこと、衷心より感謝申し上げます。

大会長特別企画シンポジウムでご講演を頂いた藤原康弘先生（国立がん研究センター 企画戦略局長）、伯野春彦先生（厚生労働省医政局研究開発振興課 課長）及び国忠聡先生（日本製薬工業協会医薬品評価委員会 委員長）には厚く御礼申し上げます。また、12 件のシンポジウム、9 件の一般口演、18 件のポスター発表における座長、演者等をお勤め頂いた方々に深く感謝申し上げます。

今回の学術大会は、「臨床研究とレギュラトリーサイエンス」というテーマで開催させて頂きました。2 日間の大会を通じ、臨床研究におけるレギュラトリーサイエンスの重要性が再確認され、今後の課題と将来の展望が示され、大変有意義だったと思います。

また、今回の学術大会の運営については、行き届かない点多々あったかと存じます。この場を借りて、お詫び申し上げます。

最後に、皆様方のご健勝、ご活躍を祈念申し上げますとともに、引き続き、当学会へのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、略儀ながら私からの御礼の挨拶とさせていただきます。

レギュラトリーサイエンス学会
第 8 回学術大会 大会長 楠岡 英雄